



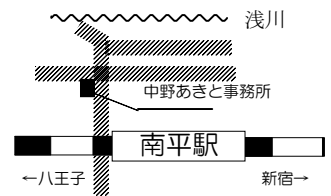
検索・中野あきと

みどりと清流

日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニュース
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)
(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正



法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



東京選挙区・日野市での得票結果

【候補者名】	【得票】
当選 朝日けんたろう (自民)	12,851
当選 山添 拓 (共産)	10,633
当選 蓮舫 (立憲)	8,842
当選 竹谷とし子 (公明)	8,768
当選 いくいな晃子 (自民)	8,161
当選 山本太郎 (れいわ)	7,403
えびさわ由紀 (維新)	6,946
松尾あきひろ (立憲)	5,489
荒木ひろ (都ファ)	4,131
乙武ひろただ (無所属)	3,404

投票率 56.26% (前回投票率 55.51%)

比例選挙の日野市での得票結果

【政党名】	【得票】	【得票率】
自民党	25,882	30.197%
維新の会	11,586	13.518%
立憲民主	11,395	13.295%
共産党	9,245	10.786%
公明党	7,514	8.766%
国民民主	5,961	6.955%
れいわ	5,408	6.310%
参政党	2,987	3.485%
社民党	2,823	3.294%
N党	2,260	2.637%

投票率 56.26% (前回投票率 55.50%)

物価高騰や改憲の動きが強まる中、多くのみなさんにお力添えいただき、東京選挙区の山添拓候補は第3位で当選しました。日野市では、市民のみなさんと一体となった選挙戦が更に広がり、第2位の得票を得ることができました。

残念ながら比例選挙は議席後退となりました。教訓と反省点を深く掘り下げ、新しい段階に対応できる日本共産党になれるようがんばります。

激戦を制し山添拓さん当選

比例は二議席減の三議席

6月市議会の本会議一般質問で中野あきと市議は、川辺堀之内区画整理組合による6億7400万円の不適切な支出と、旧たかはた保育園民営化をめぐる日野市が行った検証について質問を行いました。

区画整理組合の問題は、全戸を対象にお届けする予定の「共産党市議会ニュース」に掲載いたします。

領収書や図面など裏付けがない保育園進入道路の補助金支出

保育園への進入道路の拡幅整備のために支出された1億999万円の補助金に関して、支出の根拠となる領収書や工事箇所図

面がないにも関わらず、日野市は工事実績報告書を決定・支出していたことが明らかになりました。

中野市議は、資料請求によって入手した工事の実績報告書に関して再調査・検討を行い、道路拡幅関連工事122万円や、諸経費517万円の領収書、出金伝票や工事箇所の図面がないことを把握し質しました。

市は「工事箇所を確認できる資料はない」「詳細を確認できる資料は添付されていなかった」と認めました。

はたして、適切に支出目的にそって補助金は使われたのか。補助金の支出対象となっている事業主や工事業者との関係が問われる重大問題です。

―裏面に続く―

6月市議会

中野あきと市議の一般質問
日野市政の不正・腐敗で更に新事実判明
旧たかはた保育園民営化の市の検証について

平山5丁目浅川堤防の嵩上げ工事完了通行可能に



工事が延期されていた平山5丁目浅川右岸のかさ上げ工事が完了し、通行が可能になりました。写真中央が完成した堤防道路。正面の緑は住民の強い要望で残された桜並木です。

短信

大激戦が伝えられる中、「山添当確」の報にひとまず安堵した。一方、比例選挙では3議席に止まり、かけがえない議席を失った山添拓候補には、共産党が東京で獲得した比例票を、9万5千票上回る68万の票が寄せられている。無党派層からの得票も最も多い。これが勝利の大きな要因となっている。

▼大勢のボランテアが駆けつけ大奮闘したのも注目すべき現象だ。この東京選挙区での経験は、これからの選挙に勝利する道筋を示しているのではないかと日野市でも、市民の方々の大活躍があった。清水とし子さんを都政に送り、大河原雅子さんの国会の議席を守った「共同」はいっそう深まり、今後のたたかいに展望を与えた。

▼7月15日、日本共産党は百周年を迎えた。太平洋戦争に向う時期、他の政党が「大政翼賛会」に合流し戦争を遂行する中、党の先輩たちは命がけで「反戦平和」と「主権在民」を掲げたたたかっている。

▼今、ロシアの蛮行に乗じて、新たな「翼賛政治」の危険が生まれている。「市民と野党の共闘」は、さまざまな妨害や困難に突き当たっているが、この政治を変える道は、一致する課題での共闘以外ない。

▼そのために日本共産党はもつと力を付けなくては。幸い若い力も芽生え始めている。世代継承を含む更なる「脱皮」「進化」を果たさねば。お寄せ頂くご意見・提言を拝聴しながら、新たな百年に向け足を踏み出したい。

平山6丁目の崖崩れ対策―

急傾斜地崩壊危険区域の指定・工事へ

この秋以降、平山6丁目の崖崩れ防止対策として、関係地権者の同意を得て「急傾斜地崩壊危険区域」に指定され、その後工事に着手することが明らかになりました。東京都の事業として行われるもので、「同意書の受領」都から市へ区域指定に関する意見照会↓都が危険区域の指定を告示↓都が対策施設の工事を施工」の流れとなっています。



なお、3月に成立した東京都の2022年度一般会計予算で、すでに崩壊対策事業費として1億7500万円が計上されています。

―表面の続き―

(旧たかはた保育園民営化検証)

市の多額の損失で地主との土地交換が行われていた

6月議会には、日野市より「旧たかはた保育園の民営化に關し第三者委員会報告で不当とされた事項に關する市独自の検証報告書」が提出されました。

この中で、市と地主との土地交換における2社の鑑定結果がいずれも市に損失があること、さらにこの交換が条例上の規定議会の議決を経ずに行われていたことが明らかになりました。

中野市議は、報告書に関する質疑で、

①市の検証過程をチェックできる記録が残されていないこと、

②進入路拡幅整備費をはじめまともな検証となっていないこと、

③それぞれの鑑定結果に対する市の判断が地方財政法の「最小の経費」原則を無視していること、

④家賃に關する不動産鑑定は第三者委員会の指摘に照らしでも疑義のある結果となっていること、

などを明らかにし追及しました。

大坪冬彦市長は答弁で、「プロセス、内容、その判断基準を示さず報告書をつくってしまったことについて申し訳なかつた」と陳謝せざるを得ませんでした。



猛暑の中、市内で平和行進



7月23日、多摩平第一公園を起点とする平和行進が行われました。猛暑の中、原水爆禁止世界大会に、市内からの参加者を含む44人が参加しました。

―中野あきとの― 日野市…ここに注目

全国に稀な農業、商業、工業 3つの条例を制定しているまち

先月号では、日野の学校給食への地元農産物利用の先進的取り組みについて紹介しました。

同時に、生産緑地の維持・確保へ向けた取り組み、いち早く農地貸付制度を活用した新規就農者が誕生するなど、積極的な農業施策が展開されているのも日野の特徴です。日野の農業のよりどころとなり力となっているのが、1988年に制定された「日野市農業基本条例」です。条例を推進するための「農業懇談会」が設置されて様々な施策が提案され、実現されてきたのです。

実は日野では、農業だけでなく、商業も工業も、独自の条例を持っています。2013年には、工業振興条例、2019年には商業振興条例を制定してきました。

おそらく、全国でも、産業に關してそれぞれの条例を持っている自治体は、日野だけではないかと思ひます。しかし、農業と商業に關しては、この条例を十分生かしきれていないとも感じます。コロナ禍に加え、物価高騰が商工業者の生業を直撃している中で、いまこそ、条例を生かし、実態をつかんで商工業者を守り支える本気の対策・支援に乗り出すときです。

〔2022年9月の無料法律相談日〕

- 1日（木）午後6～8時 中野あきと事務所
- 8日（木）午後1～3時 日野市役所6階共産党控室（お申込み） わたなべ三枝・清水とし子事務所

☎042-582-1042

◎法律相談以外のお困りごともお気軽に

中野あきと事務所 ☎042-599-3350

<日野のちょっと昔 (その5)> にぎやかに福引大売出しの抽選会

―12年前 南平駅南口商会街―



「カラン、カラン、大当たり！」と、大きな鐘の音とにぎやかな呼び声が響いた南平駅南口商店会の夏の「福引大売出し」の抽選会風景。きれいに飾られた会場は「たましん」の駐車場でした。なつかしい写真は2010年（平成22年）7月11日の撮影です。

福引は買い物をするごとに1000円ごとに1枚の抽選券。端数は200円ごとに補助券がもらえ5枚で1回の抽選ができました。ここの抽選会の最大の呼び物は「現金つかみどり」で、500円硬貨と100円硬貨のつかみどりでした。

この催しも20年以上続きましたが2018年が最後でした。その後はコロナ禍などで中止になりました。

そしてさらに残念なことに、ことし2022年3月末には「南平駅南口商店会」が解散となりました。

しんぶん
赤旗

日刊●月3497円 日曜版●月930円

◎短期間のお試し購読。一部売りも。

お気軽にお申し込みを。中野あきと事務所